

(((自律を求めて能動的に))) 自

平 野 田 尚 長崎学舎主幹

学生部長 上 里 一 郎

入学おめでとう

今年も優秀でフレッシュな学生諸君2,800人余を本学に迎えることができ大変喜んでいきます。大学は毎年新しい学生を迎えることで活性化され成長していくものです。その意味で諸君の役割と期待は大きいといえます。

広島大学 NOW

諸君を迎えた広島大学は、11の学部と9つの大学院を擁する日本でも有数の総合大学です。諸君の教育に当たる教官は1,600人余、あらゆる分野の専門家が揃っています。

学部の学生は約12,500人、大学院生は約2,000人、これらの人たちが君の仲間として、先輩として大学生活の相談相手になってくれることでしょう。

留学生は現在49か国から450人余が本学で学んでいます。その人たちは様々な文化や言語の具現者でもあります。遠巻きにせず、話しかけて学び仲間になりましょう。

課外活動も盛んに行われています。施設はお世辞にも立派とはいえませんが、全国レベルのクラブもあります。団体の数は約145、学生の約40%が入会して活動しています。

このように、本学は多くの人的物的な資源を持っています。しかしこの資源は君次第です。君が扉を叩かなければ地下の資源と同じで眠り続けます。

高校と大学の教育—他律から自由と自律へ—
大学での生活はこれまで諸君が経験してきた学校生活とはかなり異なっています。

まず第一は、自分で考えて決め、結果は自分が責任をおうということです。

多くの諸君は、下宿して通学することになりますが、寝る、食べる、登校、学習などを

すべてが自分の判断と責任でなされるのです。こまごまと世話してくれた両親やクラス担任はいないのです。大学はその意味では“自由の修羅場”でもあります。この体験とおして、自律性を獲得することを期待しているのです。しかし果てしなく落ちることもまれではありません。

第二に、大学生活では積極的で能動的な態度が求められます。

これから諸君は一般教育課程で1~2年間学ぶことになります。ここでの教育は“広く学問への取り組み方を教え、教養ある人間性豊かな社会人を育成すること”が目的です。そのため、

多様な分野の講義・演習・実験が用意されており、その量と質は全国のトップクラスにあるといってもよいでしょう。しかし、これらの多種多様な学問を単純にこの単位がなければ進学できないからという受動的な態度で受講したとすれば、結果は一般教育の狙いとは遙かに遠いものとなることでしょう。

受動的で安易を求める態度は単位の習得におわり、自己の開発は夢のまた夢になります。

社会人としての良識を

昨年末の広大フォーラムに、「迷惑施設広島大学」という記事が掲載されました。東広島市に住む本学の学生の行動(騒音・ゴミ処理・暴走等)が地域社会に迷惑をかけ、ひんしゅくをかっているという内容でした。これは氷山の一角で、住民に感心される学生もいますが、ひんしゅくをかう学生もすくなくありません。決められたルールはきちんと守り、

他者への配慮を大切に地域社会との共存に心してほしいものです。

自由や権利には義務が伴うものですから。